

学校教育目標：ふるさとを誇りに思い、やさしく・かしこく・たくましく生きる麓っ子の育成

～みんなにとって、気持ち（居心地）のよい学校にしよう～



チームワーク
フットワーク
ネットワーク

麓っ子

麓小学校だより

令和4年5月24日号

文責 校長 木村 嘉身

TEL 0942-83-2013

<https://www.education.saga.jp/hp/fumoto-e/>

歓迎集会（放送・電子黒板）

5月2日（月）2・3時間目、1年生を歓迎する会を行いました。今年度も、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、集会委員会の子供達を中心に、放送や電子黒板を活用しながら、1年生が楽しめる歓迎会を企画してくれました。

当日は、集会委員会が進行を務めてくれました。各教室で、スピーカーから流れる曲に合わせて「さんぼ」の歌を歌ったり、各学級の代表が自分たちの学級の目標や学級の紹介を行ったりしました。また、集会委員会が、麓小学校に関係するたくさんの「〇×クイズ」を放送室から出題してくれたことで、1年生ばかりではなく、どの教室も盛り上がっていました。問題の内容としては、御衣黄桜や図書館の名前、給食、せんだんの木、無言掃除、運動場の壁面のキャラクターなどについて出題されていました。



〇×クイズに答える1年生

集会委員による放送

休憩の後は、1年生の子ども達を6年生の子ども達が優しくエスコートしながら校内をゆっくり歩き、2～5年生の教室の前を通ると、大きな拍手で迎えられていました。

日頃から、6年生の子ども達は、1年生の教室に行って朝の準備を手伝ったり、1年生の給食の準備を手伝ったり、最上級生として進んで1年生のお世話生として進んでいます。新体力テストでは、1年生と一緒に走る姿が見られました。

このように日頃の学校生活での触れ合いを通して、1年生には、6年生への感謝の気持ちが芽生えることと思います。また、6年生も1年生のお世話をすることで、自信や達成感に繋がり、自己の更なる成長に繋がることと思います。



6年生と歩く1年生

交通安全教室

5月9日（月）2・3時間目と5時間目、子ども達の実態を考慮した上で、交通安全教室を二つの内容に分けて実施しました。

2時間目は1年生を対象に、3時間目は2年生を対象に、外に出て交通安全教室を行いました。

まず、交通安全教室の目的を説明した後、麓地区の交通指導員の皆様の紹介をしました。1・2年生の子ども達に、交通指導員の皆様の顔と名前を覚えてもらうために、立っている場所と子ども達に向けたメッセージをお願いしました。

その後、学校の南側の道路を実際に歩いたり、横断歩道を渡ったりすることで、正しい歩き方や横断歩道の渡り方の指導を行いました。現場での説明は、担任等が複数のグループに分けて引率しながら、鳥栖警察署の方と交通指導員の皆様にいただきました。

終了後、子ども達は、お世話していただいた皆様に気持ちを込めてお礼を言うことができました。



交通指導員さんの紹介

横断歩道を渡る子ども達

5時間目は、全校の子ども達を対象にリモート形式（Google Meet）で、「歩道の歩き方」や「自転車の乗り方」について、鳥栖警察署の方にスライド等を活用しながら説明してもらいました。

鳥栖警察署の方からは、「交通事故が多い場所」や「交通事故の原因」、「自転車の正しい乗り方」、「遊びに行くとき注意すること」などについて話してもらいました。

特に自転車に乗る前に注意することとして、「ぶたはしゃべる」をキーワードとして、子ども達に考えさせながら話していただきました。

「ぶ」 ブレーキの確認（左右とも機能するか）
「た」 タイヤの確認（空気が入っているか）
「は」 ハンドルの確認（曲がっていないか）
「しゃ」 車体の確認（ライトや反射材は大丈夫か）
「べる」 ベルは鳴るか（危険な際だけ使用）

この他、自転車に乗るときのルールとして、「ヘルメットを必ずかぶること」、「左側を走行すること」、「並列での走行や競争はしないこと」、「両足のつま先がつく自転車に乗ること」、「歩道は歩行者優先であること」などを教えていただきました。

スライド等を基に具体的に話していただいたことにより、子ども達の交通安全の意識がさらに高まったと思います。



鳥栖警察署の方による話

夏季における職員の服装について

佐賀県では、学校を含め県を挙げて、地球温暖化対策及び節電意識高揚のため、夏季期間中は原則、上着及びネクタイを着用しないこととしております。保護者の皆様におかれましても、来校の際差し支えがなければ、軽装等のクールビズにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

実施期間は、移行期間を含め、5月1日～9月30日迄となっております。